



## 菅野盛里線

この開削の小尾根一つ向こうが道志口沢  
写真を撮っている間もパラパラと細かい落石が不気味で  
す。周辺には重機や現場事務所があり、急ピッチで工  
事が進められているようです。

しかし工事のおじさん達はみんな優しく、大きな手で相  
棒の頭をガシガシなでてくれました。相棒は迷惑そう  
でしたが・・・犬は山の生態系を乱すなどと言う、ウルサ  
ガタとはえらい温度差でした。



雛鶴トンネル西の林道基点からここまで 50 分  
尾根を回り込むとガン！なんじゃこれは！！  
岩戸ノ峰～ヒカゲ舟のきれいな尾根がザックリ  
右のふくらみがヒカゲ舟



そばに寄るとものすごい高さ。  
つたない写真技術ではその高さが表現できていないが、  
10m以上は間違いない。



切通しを通過して向こう側から。  
裏の土砂が流れ出ています。現場監理者はどう思っ  
ているのか。アースアンカーでも打たないことにはこの土  
圧に耐え切れないのでは。

この空洞の縁を登ってヒカゲ舟へなんと 5 分。  
あまりにもあっけないピークハントでした。



前の画像の反対側。

岩戸ノ峰への取り付き点。約1時間

実際に登ってみるとちょっと怖い傾斜。

こんな階段でもあるとなしとは大違い、何もなければ絶壁の上をウロウロ、ずり落ち点を探さなければなりません。なかったら・・・考えたくもありません。



## 土室日川線

土室日川線の日川側

中景尾根の向こうと遠景尾根との接点が狼平。

遠景のピークが小金沢山

このなだらかな地形ならトンネルなんか掘らずに簡単に峠を乗り越える？

しかしこのおだやかな開削は菅野盛里線と違い、不覚にも安らぎを感じてしまうのです。



## 大蔵沢大鹿線

笹子川開削

ここから大鹿峠をかすめて大谷が丸へ爆進するのか。



大和村側から

米背負峠もうすぐそば。ガードレールが見え開削完了している。ここはもう峠直近、沢の源頭。

ここから大谷が丸をトンネルで貫くという。

米背負沢はもうすぐ死んでしまうのか？



### 大蔵沢大鹿線林道マップ

この林道も

平成 20 年度事業再評価かなされ、改めて事業継続が決定している。HP 閲覧可能です。

# 焼山沢真木(東)線



上画像拡大

